

提案書要約

申請者名 ビオセボン・ジャポン株式会社

提案概要書

都市型スーパーマーケットにおける容器包装削減・循環型売場実証事業

量り売りのポテンシャルを最大限に活かし、包装を使わない買い物を日常に。プラスチック削減と資源循環の新しい標準モデルを構築します。

Bio  
c  
Bon

ビオセボン・ジャポン株式会社  
連携事業者  
斗々屋  
TODAYA × TERAOKA  
寺岡精工株式会社

背景・課題

量り売りを実施しているが、包装はワンウェイのまま。  
量り売りのポテンシャルを活かしきれていない。

DONE○

必要な分だけ  
食品ロス削減  
のポテンシャル

Not Yet×

包装ごみ  
ゼロの可能性  
×  
プラスチック削減  
のポテンシャル

量り売りは本来、食品ロス削減と  
プラスチック削減の両立が可能

×

マイ容器が使いづらい

×

デポジット制リユース容器がない

×

デジタル量りが対応していない

×

使い捨てのプラ混合紙袋を提供

結果として、使い捨て包装材が発生し、  
プラスチック削減効果は十分に得られていない。

必要な分だけ買う＝食品ロス削減

×

使い捨てプラ包装を使わない＝プラスチック削減

両方実現可能なのが“量り売り”

本事業の取組内容

デジタル計量×リユース容器で、  
包装を使わない循環型売場へ。

デジタル計量システム  
(寺岡精工)

+

マイ容器利用  
(持参容器OK)

+

デポジット制  
リユース容器

+

有償紙袋  
(選択肢)

マイ容器・リユース容器の  
重量を自動認識し、  
スムーズに計量

+

持参容器で  
量り売り商品を購入

+

容器を借りて購入し、  
返却してデポジット返金

+

持参・リユース容器が  
ない方の選択肢

容器の繰り返し利用を促進し、使い捨てプラスチック包装を削減

期待される効果

消費者にとって

・包装を使わない買い物が日常的に可能に  
・利便性の高い立地・営業時間で無理なく継続  
・返却をきっかけに再来店・継続利用を促進  
・行動変容の形成と資源循環への参加

店舗にとって

・マイ容器利用率、リユース容器回収率、包装削減量を  
定量的に把握・評価  
・循環型売場の標準オペレーションを確立  
・食品ロス削減と資源循環を両立した売場へ

東京都・社会にとつて

・3店舗の実証知見を標準モデルとして整理  
・ビオセボン全24店舗への展開を目指す  
・他の食品小売事業者への横展開を促進  
・使い捨てプラスチック削減と資源循環の拡大に貢献

実施イメージ  
(利用の流れ)

① 商品を選ぶ

② 容器に入れる

③ デジタル計量

④ 支払い

⑤ リユース容器返却  
(デポジット返金)

量り売り什器から  
お好みの商品を選択

→

マイ容器または  
リユース容器に入れる

→

容器の重量を自動認識し  
そのまま計量・ラベル発行

→

レジでお会計

→

使い終わった容器は返却し、  
デポジットを返金

販売する主な商品（約50商品）

乾物  
(約もの・出汁・海苔など)

穀物・米

ナッツ・  
ドライフルーツ

豆類

シリアル等

量り売り専用什器(4台)

デポジット制リユース容器・紙袋

実証スケジュール  
(6か月間)

採択前準備(8月中旬)

採択・事業開始  
(8月下旬～9月上旬)

第1回実証(約4週間)  
9月中旬～10月中旬

分析・改善  
(10月下旬)

第2回実証(約3週間)  
11月中旬～12月上旬

年末商戦期間  
12月中旬～1月上旬  
※POPUP実施なし

第3回実証(約3週間)  
1月中旬～2月上旬

成果整理・報告(2月中旬～下旬)

・キックオフMTG  
・役割分担の確認  
・実証計画の策定  
・ヒアリング内容検討  
・売場レイアウト検討  
・POP・販促物デザイン検討

・採択決定  
・発注・契約手続き  
・資材・商品調達  
・第1回実証店舗設置  
・広報開始・スタッフ説明

麻布十番店

・販売開始  
・データ取得  
(利用率、回収率等)  
・ヒアリング実施  
・包装削減効果測定

分析・改善

・結果分析  
・課題抽出  
・改善点整理

都内別店舗①

・改善反映した実証  
・データ取得  
・利用状況確認

・結果分析  
・第3回実証の  
ブラッシュアップ  
・販促物更新  
・資材準備

都内別店舗②

・実証実施  
・データ取得  
・利用状況確認

・3店舗比較分析  
・包装削減効果分析  
・マイ容器利用率分析  
・リユース容器回収率分析  
・行動変容分析  
・循環型売場標準モデル策定  
・全24店舗展開に向けた課題整理  
・最終報告書作成・提出